

OS交配



露地 トンネル～夏秋遅まき 全夏秋作型適応

キュウリ

夏(なつばえ)映 OF202

●ウドンコ病・褐斑病・べト病に極めて強く タンソ病にも強い●

複合耐病性



株式会社 埼玉原種育成会

特 性

- ★ウドンコ病・ベト病・褐斑病の耐病性を示し、タンソ病にも強い。
- ★果実の肥大が良く、初期から多収で果形安定し、乱れも少ない。
- ★果長の安定度も高く、短くなりにくい。
- ★果皮が柔らかく、果肉は締まっっていて食味が良い。

適作型 と 雌花率	3月～5月播き トンネル・夏秋栽培 防虫ネットハウス 40%～50%	主 茎 側 枝	太く、節間は中節間で発生は良い 孫枝以降も側枝の肥大を伴い確実に発生
	6月～8月播き 露地抑制 30%～40% 1節1～2果成り主体 側枝以降 近成り		葉
草 勢	側枝はゆっくり確実に発生する 孫枝以降は、中～短節間となり、 発生は良い	収 量	初期の成り込みが良く、間断なく分枝し、 肥大性が良いため長期に亘り 秀品多収を示す
果 実	100g果で21～22cm 首から尻部まで良く整った円筒形で 果揃い良く、果形の乱れも少なく 安定する	耐病性	ベト病・ウドンコ病さらに褐斑病などの 各種病害に強い

栽培のポイント

※草勢を維持するため、2～3本仕立ての場合、
孫枝以降の半放任による整枝で末期まで良果が穫れ続ける。

● 定植と植付本数

害虫防除のために、植付前にポットへの薬剤処理をしておく。葉面散布や
発根促進剤等でトブ漬けをし、地温16℃以上保つ条件で定植すると良い。
植付本数は、株間80cm～100cmで約800本/10aを目安にする。

● 施肥

初期の低地温での肥効をよくするために、早くから堆肥や有機質肥料を
中心に広く深くにまで施しておくが良い。通常N20kg、P15～20kg、K20kg位
だが前作、肥料の種類、地力により増減する。追肥は梅雨時期にかかり、
根は浅根となり易いので少量ずつ多回数が良い。

● 灌水と排水

定植後の根付き水や薄めの液肥かん水等でしっかりと樹作り。
日射量に応じて灌水すると効果高い。
排水対策をしっかりと、酸素供給剤等を施用すると効果高い。
5月や梅雨明け後は、相当乾くため灌水チューブ等を用意し、
強光線=高温=適湿となるように灌水すると良い。

● 摘葉及び整枝法

地上40cm以下の脇芽・雌花を早めに摘除する。2～3本仕立ての場合
は、孫枝以降の半放任による整枝で末期まで良果が穫れ続ける。
遅まき程、収穫が始まったら機械的な摘芯はせず、草勢を判断して行う。

アーチ外側に3～4本生長点を
上・中・下段に確保し長く
伸びたら新しい枝に更新する。



「夏映(なつばえ)」
の最適台木品種

- ブルームレス台木/OS交配 ゆうゆう一輝(黒タイプ)・オールスター一輝・FGY・RK-3
- ブルーム台木/OS交配 ウルトラ南瓜・ウルトラ9B南瓜



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
株式会社 埼玉原種育成会
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元
株式会社シード
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407